

わたし達の WLB

3年間の取り組み

平成27年度
カンゴサウルス賞
受賞病院



事例ファイル:5

医療法人慧明会 貞松病院

大村市東本町537



【病院の特徴】

大村駅から徒歩5分の場所に位置し、整形外科を主体とした全6科標榜の一般病院です。患者さんの希望に添えるような医療を提供するため、「患者さん本位の医療」「安全と信頼の医療」「地域に貢献する医療」の病院理念の基、愛情と責任を持った心温かな看護の提供と看護職の育成強化に努めています。

- 【設置主体】医療法人
- 【病床数】76床
(一般病棟40床
回復期リハビリテーション病棟36床)
- 【病床稼働率】96%(H26年度)
- 【入院基本料】一般10対1 回復期リハ13対1
- 【看護職員数】正規職員63名 非正規職員8名
【補助者】13名(平成26年度)
- 【看護師の平均年齢】38.1歳(H26年)
- 【離職率】8.6%(H26年度)

主な取り組み

1 WLB推進体制づくり

- ・取り組みの説明と周知
- ・インデックス調査結果および進捗状況報告

2 超過勤務時間の削減

- ・時間外勤務が多かった外来と一般病棟に焦点をあて、業務内容、量の調査を定期的に実施・検討

3 多様な勤務形態の導入

- ・時差勤務時間帯の検討と看護師増員

4 看護ケアの充実

- ・業務改善と業務委譲

5 特別休暇の見直し・有給休暇の取得促進

- ・就業規則再読と周知

6 労働条件・処遇の改善

- ・就業規則見直しと確認

3年間の主な成果

1

- ①理事会への報告。
- ②環境調整委員会をWLB委員会とし取り組み状況と経過報告会を月1回実施した。

2 3 4

外来

- ①パート職員2名採用した。
- ②多様な時間差の組み合わせで昼休憩が確実に取得できた。
- ③遅出就業時間を変更した。
- ④職員間の協力意識が確認できた。

一般病棟

- ①準夜3人体制へ増員した。
- ②準夜業務マニュアル見直しをした。
- ③夜勤者への申し送り時間変更・情報収集場所と時間(電子カルテ増台)を確保した。
- ④看護師補助者の早出・遅出時間を変更し、朝・夕の業務委譲を行った
- ⑤週1回のノー残業デイを開始した。

5 6

- ①各部署で就業規則の再読を徹底した。
- ②慶弔休暇などの特別休暇、永年勤続褒賞が見直された。
- ③各職員が有給日数を自己管理できるように年休取得表を提示した。
- ④勤務表作成時に有給を計画的に組み入れた。
- ⑤年未年始・お盆休暇が増えた。

まとめと課題

3年間の取り組みと結果を再度、見直し考えてみると1年目は電子カルテ導入と重なりとても不安であった。開始後は、インデックス調査による現状把握・分析・ワークショップでの課題の明確化ができ、的確なアドバイス等を受けながら進めて行く事ができた。このWLB事業参加は、他病院施設の状況が解り、自病院の良い部分も確認できた。いろいろな考え方や方法を学び「参加して本当に良かった」と、応援していただいた関係者の方々に心から感謝している。明るい職場づくり・WLB取り組みの重要性を職員全員が認識し、今後も継続していきたい。